

防災講演会 in 魚津市

日 時：令和7年10月12日（日）

13時30分～16時（開場 13時より）

会 場：新川文化ホール 小ホール（魚津市宮津110番）

近年、わが国、世界において豪雨や巨大地震、火山噴火等に伴う想定を超える規模での自然災害が頻発しており、この先「いつ、どこで起きるかわからない災害」に備える必要があります。

本講演会は、これらの災害のうち「土砂災害・土石流・がけ崩れ・地すべり」に関する現状やこの災害から身を守るための知識や避難行動等、また、被災した地域の現状や復興状況等の防災に関する様々な情報の「学ぶ場」としています。

※ 会場内で防災に関するパネル展示等も行います（13:00～16:00）

13:30 開会挨拶 実行委員長 山崎 列子（立山砂防女性サロンの会 会長）
挨拶 魚津市長 村椿 晃

13:45 基調講演 「土砂災害を知る・備える・行動する」
（一社）全国治水砂防協会 副会長
岡本 正男 氏

14:45 報 告(1) 「能登半島地震の災害支援活動」
かみいち総合病院 主任看護師（災害支援ナース）佐伯 優 氏

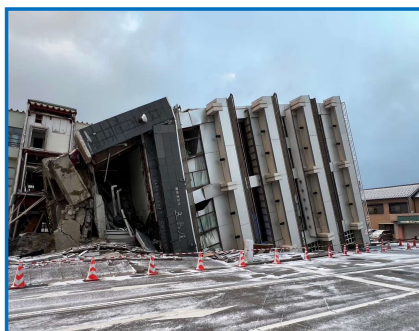
15:10 報 告(2) 「これからの地域防災について」
NPO法人 富山県防災士会 理事長 吉澤 実 氏

15:35 報 告(3) 「魚津市からの報告」
魚津市総務部総務課防災危機管理室 係長 魚住 和広 氏

16:00 閉 会



河原田川の斜面崩壊（R6.1.1能登半島地震）



能登半島地震によるビル倒壊
（輪島市河井町）



R6.9.20大雨による土石流被害：死者1名ほか
（輪島市町野町南時国）

主催：砂防防災講演会実行委員会 共催：魚津市

後援：国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所
国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所
富山県土木部砂防課

協賛：富山県治水砂防協会 富山県建設業協会魚津支部
（一社）富山県測量設計業協会 富山県立山カルデラ砂防博物館

＜実行委員会の構成団体＞

（一社）斜面防災対策技術協会 富山支部
（一社）北陸地域づくり協会 富山支所
NPO法人 富山県砂防ボランティア協会
立山砂防女性サロンの会

NPO法人 富山県防災士会
立山山麓防災・安全対策協議会
立山・神通砂防ボランティア協会（TJSV）

基調講演の講師紹介

岡本正男 氏

○役職

一般社団法人 全国治水砂防協会 副会長



○略歴等

建設省(当時)入省後、土木研究所、河川局砂防部、松本砂防事務所、北陸地方建設局、大和川河川事務所、河川局災害対策室、広島県、ネパール王国派遣等を経て国土交通省砂防部長で退職。

その後、全国治水砂防協会で技術顧問、理事長を歴任し、現在副会長。

又、砂防学会会長や静岡大学非常勤講師等を務め、ライフワークとして、砂防の重要性を著書や講演などを通して、広める活動を行っている。

○基調講演概要

映像等を通して土砂災害(土石流、地すべり、がけ崩れ)の特性や近年の土砂災害の傾向を知り、東日本大震災等の災害から得られた教訓を学ぶことで、いざという場合に備え、そして自分の命は自分で守るために行動する大切さを知っていただく。

報告会の紹介

◆報告(1) かみいち総合病院 主任看護師(災害支援ナース) 佐伯 優 氏



○報告内容及び報告者の略歴等

能登半島地震(令和6年1月1日)発生の際に、JMAT(Japan Medical Association Team)日本医師会災害医療チームとして、JMAT4班(令和6年1月22日～25日)、JMAT16班(令和6年3月1日～4日)として、穴水町、輪島、能登、珠洲等に派遣され、避難所での仮設診療所の運営、地域の診療所・クリニックでの補助業務を行いました。

◆報告(2) 特定非営利活動法人(NPO法人)富山県防災士会 理事長 吉澤 実 氏



○報告内容及び報告者の略歴等

2006年に防災士登録、NPO法人富山県防災士会の発足に尽力、2023年理事長に就任、現在に至る。

「令和6年能登半島地震や近年の豪雨等の自然災害によって、富山県民の防災に対する意識や取り組みに変化が見受けられるようになりました。今後、人口が減少するなかで、この地域防災力の一層の向上への取り組みについて、ひとつの提案としてお話ししたいと思います。」

◆報告(3) 魚津市総務部総務課防災危機管理室 係長 魚住 和広 氏



○報告内容及び報告者の略歴等

2024年4月から、現職。令和6年能登半島地震発生時に浮き彫りになった「避難所の解錠に時間を要したこと」などの課題への対応や、近年、激甚化・頻発化する災害への本市の防災及び災害対応についての取組などをお話ししたいと思います。